

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部学校給食課	評価者 (課長)	坪金 裕子	評価責任者 (部長)	松村 悟
事務事業コード	017053	事務事業名	学校給食費一般事業費	事業の分類	(経常的事務事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 1 充実した教育環境で学べる	実施計画	×
	基本施策	I 12 教育環境の整備・充実	基本方向	子供たちが、安全・安心に学び、「生きる力」を育むことができるように教育環境等の整備・充実に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2) 学校給食の充実			【 実施なし 】 %	
	推進施策の展開	①生産者の顔が見える安心・安全な食材を使用し、地域の特性を生かした学校給食に取り組みます。 ②学校給食を生きた教材として活用し、学校における食育の一層の推進を図ります。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 児童・生徒及び保護者 給食センター職員及び学校関係者 他	意図(どういう状態にしたい): 各学校給食センター及び単独校給食施設の円滑な運営により、児童生徒に安心・安全でおいしい給食の安定供給を可能とする。 (年間提供食数:2,319千食)	事業の内容 (手段)	①一般管理事務(学校給食センターの衛生・アレルギー対応・労務・職員育成・契約・財産・予算決算等管理・運営)、及び各給食センター間の調整 ②学校給食費管理事務 ③学校給食運営審議会開催事務 ④給食協議会開催事務 ⑤新給食センター整備検討事務		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績		①学校給食実施率(給食実施日/給食予定日) 199/201 99.0% ②学校給食費収納率(現年度分) 99.74% ③学校給食費収納率(過年度分) 2.25%				事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)			
【26年度】					直接事業費		千円		7,671	4,970	5,935	6,010	5,998			
					(予算額) うち一財		千円		7,518	4,970	5,935	6,000	5,998			
事業目標	目標名	学校給食費収納率(現年度)	計算式	達成項目/目標項目			単位	%	直接事業費	千円	4,255	2,286	対27年度増減理由 対28年度増減理由			
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度		28年度	(決算額) うち一財	千円	4,254	2,286					
	目標値	99.84	99.85	99.90	99.75		99.75	正職員人件費	千円	20,290	19,449					
	実績値	99.74	99.72	99.74			人工数	人	2.77	2.63	2.61					
達成度(%)	99.9%	99.9%	99.8%			支出コスト	千円	決) 24,545	決見) 21,735							
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象		事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
	①	一般管理事務	周南市が行う事務事業		安心安全でおいしい学校給食の提供		○給食における食物アレルギーに関する情報を提供し、アレルギーによる事故の防止 ○衛生管理基準等各種マニュアルを遵守し、感染性食中毒、異物混入事故の防止		○全小中学校へ給食に関するアンケート調査実施 ○アレルギー面談等の実施 ○学校給食センター薬剤師及び衛生管理者等嘱託・臨時職員任用		正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	
		(経常的事務事業)									2.18		2,147	否	否	
細事業の課題	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価									
	○アレルギー対策の徹底 ○衛生管理対策 ○異物混入対応						B	改善案	○食物アレルギーを有する児童生徒に対して安心・安全な給食を提供する。 ○衛生管理の正しい知識を身につけることにより、学校給食における安全性の向上を図る。 ○異物混入対応マニュアルの作成							

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト 直接事業費	委託等の可否	
	正職員	臨時等					委託	臨時嘱託			
②	給食費管理事務	(経常的事務事業)	周南市が行う事務事業	市と保護者との経費負担の明確化を図るとともに、負担の公平性を確保する。	給食費の収納について管理し、督促などにより未納額の削減を目指す。	給食費収納率99.74% 前年度分の督促1回、催告1回実施	0.15		38	否	否
	■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 ■ コスト □ その他										
細事業の課題	各学校の給食担当職員と情報交換する中で督促事務を進めているが、滞納者の家庭の状況など、給食担当職員が詳しく把握しており、学校での徴収力に依存するところが多い。卒業後の徴収は困難なため、まず現年度分の滞納徴収体制を強化していく必要がある。			B	改善案	○従来の対応とともに、現年分の給食費に未納が発生しないよう、学校と連携を取りながら、保護者への文書発送や督促状の発送、就学援助対象者には校長への受領の委任を推進する。					
③	運営審議会開催事務	(経常的事務事業)	周南市が行う事務事業	安心安全でおいしい学校給食の提供するため、学校給食の運営に関する事項を協議する。	学校給食の運営に関しては運営審議会で審議する。(年2回)	開催回数 2回 100%	0.18		99	否	否
	■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 ■ コスト □ その他										
細事業の課題	給食センター建設、アレルギー対策、給食費未納対策、地産地消の推進等は今後も検討していく。			B	改善案	○安心・安全でおいしい学校給食を提供するため、課題を持って運営審議会を開催する。					
④	給食協議会開催事務	(経常的事務事業)	周南市が行う事務事業	各センターごとに学期に1回、献立内容や食材等に関する協議を行う。	安心安全でより良い給食を提供する。	各センターで、学期に1回、学校給食の献立や、その他学校給食に関することをPTA、給食担当(教員)、栄養士、行政で協議する。	0.06		1	否	否
	■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 ■ コスト □ その他										
細事業の課題	給食費の統一に伴い、魅力ある献立づくりが必要である。			B	改善案	○これまで徳山・新南陽・熊毛・鹿野の地区別に協議会を開催していたが、26年度からはセンター別に協議会を開催し、各センターで魅力ある献立の作成をしている。					
⑤	新給食センター整備検討事務	(施設等整備事業)	周南市が行う事務事業	徳山西、新南陽学校給食センターに替わる。西部地区学校給食センターの整備	安心安全でより良い給食を提供する。	センター設置場所や規模について情報収集及び検討	0.06		1	否	否
	■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 ■ コスト □ その他										
細事業の課題	築後35年以上を経過する徳山西、新南陽学校給食センターの老朽化が著しく、センター間に格差が生じているため新センターの整備が急務である。			B	改善案	○徳山西・新南陽に替わる給食センター建設については、建設場所、建設規模等の検討を継続し建設方針を決定する。 ○今後の児童生徒数や学校の統廃合を考慮し周南市学校給食センター建設基本計画を見直す。					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	現在、学校給食衛生管理基準を満たした新センターを順次整備してきているが、設備の違いから各センター間の一体感は図れていない。また、老朽化が進んでいる既存の給食センターの整備が急務である。	前年度までの指摘事項	給食費の収納率の向上について対策を検討された。平成26年4月からの給食費の統一、改定に備え、諸準備を行われた。	指摘事項に対する改善状況	平成25年度から実施している児童手当からの給食費滞納分の引き去りや、就学援助費受給者で支払いが無い場合は校長口座への振り替えの制度の有効活用に努めていく。平成26年4月、給食費を統一、改定。
	細事業の課題・問題点	各学校の給食担当職員と情報交換する中で督促事務を進めているが、滞納者の家庭の状況や滞納する理由などは、給食担当職員のほうが詳しく把握しており、どうしても学校側の取り組みに頼らざるを得ない部分がある。子供が在学中に滞納分を徴収しないと、卒業後はなかなか支払うケースが少ないため過年度分の累積滞納額は増える一方になる。現年度分の滞納額を極力減らすため、滞納徴収体制を強化していく必要がある。	事業全体の課題・問題点	従来の対応とともに、現年分の給食費に未納が発生しないよう、学校と連携を取りながら、保護者への文書送付や督促状の送付、就学援助対象者には校長への受領の委任を推進する。		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	現年度分の給食費の徴収率が、対前年度と比較して下がっている。悪質な滞納者に対する徴収について、有効な手立てがないか検討する必要がある。	改善案	平成25年度から実施している児童手当からの給食費滞納分の引き去りや、就学援助費受給者で支払いが無い場合は校長口座への振り替えが可能となっているため、今後、制度活用の周知に努める。
----	---	--	------	---	-----	---

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	学校給食費収納率向上のため、現年度分について、各学期ごとに、未納者に督促状を送付する未納対策を実施されたい。
----	---	--

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100101
分野	1教育・子育て
基本施策	1教育の充実
推進施策	(1)学校教育の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
学校や関係課と連携をとり、支払能力がありながら未納となっている事案を中心に給食費未納対策を継続して実施する。また、現年度分の学校給食費未納者に対しても、学校と連携をとり、学期ごとに督促状を送付する未納対策を実施する。	

備考

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部学校給食課	評価者 (課長)	坪金 裕子	評価責任者 (部長)	松村 悟
事務事業コード	072023	事務事業名	単独校管理運営事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 1 充実した教育環境で学べる	実施計画	×
	基本施策	I 12 教育環境の整備・充実	基本方向	子どもたちが、安心・安全に学び、「生きる力」を育むことができるよう教育環境等の整備・充実に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2) 学校給食の充実			【 実施なし 】 %	
	推進施策の展開	①生産者の顔が見える安心・安全な食材を使用し、地域の特性を生かした学校給食に取り組みます。 ②学校給食を生きた教材として活用し、学校における食育の一層の推進を図ります。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 小中学校の児童・生徒・教職員	意図(どういう状態にしたい): 施設・設備の適切な維持管理と衛生管理の徹底に努め、小中学校の児童・生徒に安心・安全でおいしい給食を提供する。 (年間提供食数:7,981食)	事業の内容(手段)	単独校調理施設の管理運営(中須小、大津島小) 調理施設の運営と調理・配送 単独校に対する副食代の補助	【 幼児教育や義務教育 】 51.10%	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	①給食実施日数(年間) 中須小194日 大津島小187日 ②給食提供食数(年間) 中須小5,037食 大津島小1,862食								直接事業費	千円	6,877	6,914	2,962	2,944
事業目標	目標名	給食調理実施率(年間)	計算式	給食調理数/給食調理予定数	単位	%		(予算額) うち一財	千円	6,877	6,914	2,962	2,944	2,944
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	6,888	6,918		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	11,000.0	10,500.0	7,981.0	736.0	1,288.0		(決算額) うち一財	千円	6,888	6,918			
	実績値	10,515.0	7,852.0	6,899.0				正職員人件費	千円	513	740			
	達成度(%)	95.6%	74.8%	86.4%				人工数	人	0.07	0.10	1.00		
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
	事業の分類							正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
	①	単独校管理運営業務 (経常的事務事業)	周南市が行う事務事業	安心・安全でおいしい給食のため、調理、配送、洗浄の作業を行う。	単独校においても給食業務を確実に実施する。	○臨時・嘱託職員を適正に配置し、学校給食業務を実施		0.1	3.82	6,918	否	可		
	細事業の課題		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ○離島地域や山間部の小規模校単独校方式給食業務であるため、調理員1人で発注、検収、調理、洗浄、衛生管理を行っている。 ○児童生徒数が減少している。				細事業評価		B	改善案	衛生管理を徹底し、有効的、効率的な業務遂行に努める。			
②														
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価			改善案					

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
							正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
③						開催回数 2回 100%						
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価						
④												
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	給食開始当初の目的は達成されているが、今後も創意と工夫を加え、豊かで魅力のある学校給食の実現を目指していく。	前年度までの指摘事項	離島・中山間の小規模校の学校給食を維持するためには必要な事業である。ただし、今後の学校再配置の動向を注視して、対応についての方策も検討されたい。	指摘事項に対する改善状況	平成27年度から中須小休校により親子方式を廃止し高尾学校給食センターから須磨小、中須中へ配送する。
	細事業の課題・問題点	○離島・中山間地域の小規模校の給食業務であり、民間委託することはかえって経費の増加が見込まれる。	事業全体の課題・問題点	大津島調理場は離島地域の小規模校の給食業務であるため、調理員1人で発注、検収、調理、洗浄、衛生管理を行っている。		

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	大津島調理場は離島地域の小規模校で、調理員のマンパワーによるところが大きい、より安心安全で安定的な給食の提供に努める必要がある。	改善案	衛生管理を徹底し、効率的な業務遂行に努める。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 平成27年度から須磨小、中須中がセンター加入校となり大津島小のみ単独校となる。大津島小学校の給食の在り方をセンターからの配送も含め検討されたい。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	100101
分野	1教育・子育て
基本施策	1教育の充実
推進施策	(1)学校教育の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
単独校は、大津島小学校1校となったが、児童・生徒数を考慮しながら、安心・安全な給食が提供できるよう継続して実施する。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部学校給食課	評価者(課長)	坪金 裕子	評価責任者(部長)	松村 悟
事務事業コード	072030	事務事業名	学校給食管理運営事業費(栗屋)	事業の分類	(施設等管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 1 充実した教育環境で学べる	実施計画	×
	基本施策	I 12 教育環境の整備・充実	基本方向	子供たちが、安心・安全に学び、「生きる力」を育むことができるよう教育環境等の整備・充実に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2) 学校給食の充実			【 実施なし 】	%
	推進施策の展開	①生産者の顔が見える安心・安全な食材を使用し、地域の特性を生かした学校給食に取り組みます。 ②学校給食を生きた教材として活用し、学校における食育の一層の推進を図ります。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 小中学校の児童・生徒・教職員	意図(どういう状態にしたい): 施設・設備の適切な維持管理と衛生管理の徹底に努め、小中学校の児童・生徒に安心・安全でおいしい給食を提供する。 (年間提供食数:479,769食)	事業の内容(手段)	学校給食センターの管理運営 施設の維持管理 調理・配送・洗浄	【 幼児教育や義務教育 】 51.10%	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	①給食実施日数(年間) 200日 ②給食提供食数(年間) 470,442食								直接事業費	千円	93,516	95,375	95,744	104,081
								(予算額) うち一財	千円	93,516	95,294	95,663	104,023	104,243
事業目標	目標名	給食調理実施率(年間)	計算式	給食調理数/給食調理予定数	単位	%	事業費	直接事業費	千円	92,330	95,779		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(決算額) うち一財	千円	92,184	95,713		調理配送業務委託契約の更新	
	目標値	485,000.0	485,000.0	479,769.0	470,817.0	466,302.0		正職員人件費	千円	6,593	7,395			
	実績値	483,453.0	474,516.0	470,442.0				人工数	人	0.90	1.00	1.06		
	達成度(%)	99.7%	97.8%	98.1%				支出コスト	千円	決) 98,923	決見) 103,174			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	事業の分類						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
	①	学校給食管理業務 (経常的事務事業)	周南市が行う事務事業	学校給食センター施設を効率的、効果的に管理し、円滑な給食業務の推進を図る。	学校給食センター施設の機能を維持し、安心安全な給食を安定的に提供する。	○保守点検、廃棄物処理等の委託 ○施設及び厨房機器の管轄 ○衛生機器関係機器の維持管理等	0.7	0.91	34,052	否	可			
	細事業の課題	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 光熱水費が上昇している。					B	改善案	経費の把握に努め、学校給食センター施設を適正に維持管理する。					
	②	学校給食運營業務 (経常的事務事業)	周南市が行う事務事業	学校給食センターの円滑な運営に関する諸事務、調理・配送・洗浄業務等を行う	○安心安全な学校給食実施のため、衛生管理を徹底して給食業務を行う	○労務・衛生管理、検便検査等 ○調理、配送、洗浄・・・委託 ○アレルギー食関係事務	0.3		61,727	可	可			
細事業の課題	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 衛生管理を徹底し、学校給食業務を行う必要がある。					B	改善案	学校給食衛生管理基準を遵守し、コストも見直ししながら学校給食業務を円滑に行う。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
								開催回数 2回 100%					
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	学校給食衛生管理基準に適合した施設である。創意と工夫を加え、豊かで魅力ある学校給食の実現を目指していく。	前年度までの指摘事項	安心・安全な学校給食の提供のため、施設設備の維持管理と衛生管理の徹底とともに、効率的な運営に努められたい。	指摘事項に対する改善状況	他センターに比べると残渣率は高いが、おかげで残渣率を対前年度で1.16%改善した。
	細事業の課題・問題点	衛生管理を徹底して施設の管理運営をし、安心・安全に学校給食を提供していくことが必要である。		事業全体の課題・問題点		光熱水費の上昇が影響していることに加え、徐々に修繕費用等も増してきているため、効率的な運営に努めたい。残渣率も対前年度で改善した。

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	安心・安全な学校給食の提供のため、施設設備の維持管理と衛生管理の徹底とともに、効率的な運営に努められたい。	改善案	栄養士による献立の工夫や、学校給食時間における巡回訪問及び食育授業を充実していくとともに、学校側の協力も重要である。学校に対し、食べ残し削減のための取り組み実施について協力を依頼していく。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 安心・安全な学校給食の提供のため、施設設備の維持管理と衛生管理の徹底とともに、効率的な運営に努められたい。また、異物混入が発生しないよう、常時、従業員の危機管理意識を高め、発生時は迅速で的確に対応すること。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	100101
分野	1教育・子育て
基本施策	1教育の充実
推進施策	(1)学校教育の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
安心・安全な学校給食の提供のため、施設設備、厨房機器等の点検・保守を徹底するとともに、衛生管理の徹底を図る。また、異物混入が発生しないよう、常時、従業員の危機管理意識を高め、発生時は迅速で的確に対応するよう継続して啓発に努める。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部学校給食課	評価者(課長)	坪金 裕子	評価責任者(部長)	松村 悟
事務事業コード	072031	事務事業名	学校給食材料費(栗屋)	事業の分類	(経常的事務事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 1 充実した教育環境で学べる	実施計画	×
	基本施策	I 12 教育環境の整備・充実	基本方向	子供たちが、安心・安全に学び、「生きる力」を育むことができるよう教育環境等の整備・充実に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2) 学校給食の充実			【 実施なし 】	%
	推進施策の展開	①生産者の顔が見える安心・安全な食材を使用し、地域の特性を生かした学校給食に取り組みます。 ②学校給食を生きた教材として活用し、学校における食育の一層の推進を図ります。			25年度市民評価の満足度	
					【 幼児教育や義務教育 】	51.10%
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 小中学校の児童・生徒・教職員	意図(どういう状態にしたい): 安心・安全で良質な食材を大量かつ安定的に調達するとともに、地産地消の推進に努めていく。また、地元産の食材を使用した郷土料理を献立に取り入れるなど、給食を生きた教材として活用し食育に繋げていく。	事業の内容(手段)	栗屋学校給食センターにおいて安心安全で品質の良い給食食材を安定的かつ適正な価格で調達		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	①食材購入費 118,820千円						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	【26年度】								直接事業費	千円	110,826	126,684	124,530	123,258	128,133
								(予算額) うち一財	千円	185	161	159	159	159	
事業目標	目標名	地産地消実施率(重量ベース)	計算式	県内産青果取扱量/青果取扱総量(11品目)	単位	%	事業費	直接事業費	千円	106,446	118,820		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(決算額) うち一財	千円	452	159		児童・生徒数の減	児童・生徒数の増	
	目標値	25.0	28.0	28.0	30.0	30.0		正職員人件費	千円	879	887				
	実績値	26.9	28.7	26.1				人工数	人	0.12	0.12	0.12			
	達成度(%)	107.6%	102.5%	93.2%				支出コスト	千円	決) 107,325	決見) 119,707				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否						
	事業の分類						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託				
	①	学校給食材料調達 (経常的事務事業)	周南市が行う事務事業	安心・安全でおいしい学校給食の提供	良質で適正な価格の食材の調達を行うほか、食育や地産地消の推進を図る。	県内産の青果取扱量が減少。	0.12		118,820	否	否				
	細事業の課題	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 青果価格協議等を定期的に行い、市場の動向を踏まえながら食材調達を継続していくことが必要。また、地産地消の推進を図ることが必要。					B	改善案	地産地消の推進、及び良品質の食材を確保していく。青果については、学校給食納入組合やJAと連携を図っていく。						
	②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案								

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
							正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③					開催回数 2回 100%							
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
							改善案						
④													
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	安心・安全な食材を大量かつ安定的に仕入れなければならない。また、地産地消への取り組みから、地元産の食材を積極的に使用することが求められている。	前年度までの指摘事項	改定後の給食費に見合う魅力ある給食となるよう、良質で安価な食材の確保と地産地消率の向上に努められたい。	指摘事項に対する改善状況	県の県産食材利用拡大事業に基づき県産食材100%利用献立を年3回実施。毎月2回の学校給食納入組合との協議により可能な限り市内産、県内産青果を使用。
	細事業の課題・問題点	地元産の青果は値段が高くなる傾向があり、食材費を圧迫する要因となる。青果価格協議等を定期的実施し、市場の動向を踏まえながら食材調達を継続し、地産地消の推進を図ることが必要である。		事業全体の課題・問題点		他センターに比べると残渣率は高めだが、残渣率を対前年度で1.49%改善した。

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	給食の食べ残し(残菜率)は、対前年度より改善したものの、まだ他センターと比較して高い。さらなる削減に取り組んでいく必要がある。	改善案	野菜類については、どうしても天候などに左右される。県内産の納品ルートの確保に努めるとともに、少し形が悪いものや小ぶりなものでも、できるだけ使用していくよう努力していく。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 給食を通して児童生徒が健康の保持増進と豊かな学校生活が送れるようバランスの良いおいしい献立作りにより一層努めること。また、地産地消や伝統的な行事食など給食を生きた教材として楽しく食文化を理解するよう工夫すること。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	100101
分野	1教育・子育て
基本施策	1教育の充実
推進施策	(1)学校教育の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
学校給食納入組合やJAと連携をとり、安全で良質な食材の確保と地産地消の向上に努める。また、伝統的な行事食や旬の食材を取り入れた献立を工夫するなど、学校給食を生きた教材として楽しく食文化を理解できるよう努める。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部学校給食課	評価者 (課長)	坪金 裕子	評価責任者 (部長)	松村 悟
事務事業コード	072033	事務事業名	学校給食管理運営事業費(住吉)	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 1 充実した教育環境で学べる	実施計画	×
	基本施策	I 12 教育環境の整備・充実	基本方向	子供たちが、安心・安全に学び、「生きる力」を育むことができるよう教育環境等の整備・充実に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2) 学校給食の充実			【 実施なし 】	%
	推進施策の展開	①生産者の顔が見える安心・安全な食材を使用し、地域の特性を生かした学校給食に取り組みます。 ②学校給食を生きた教材として活用し、学校における食育の一層の推進を図ります。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 小中学校の児童・生徒・教職員	意図(どういう状態にしたい): 施設・設備の適切な維持管理と衛生管理の徹底に努め、小中学校の児童・生徒に安心・安全でおいしい給食を提供する。 (年間提供食数:412,737食)	事業の内容(手段)	学校給食センターの管理運営 施設の維持管理 調理・配送・洗浄	【 幼児教育や義務教育 】 51.10%	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】	①給食実施日数(年間)		②給食提供食数(年間)		項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)		
		199日	401,507食											
事業目標	目標名	給食調理実施率(年間)	計算式	給食調理数/給食調理予定数	単位	%	事業費	直接事業費	千円	76,713	78,350	79,217	83,625	83,707
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(予算額) うち一財	千円	76,713	78,305	79,172	83,580	83,662
	目標値	393,000.0	393,000.0	412,737.0	390,306.0	390,903.0		直接事業費	千円	76,347	78,854		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	実績値	401,566.0	400,445.0	401,507.0				(決算額) うち一財	千円	76,236	78,829		調理配送業務委託契約の更新	
	達成度(%)	102.2%	101.9%	97.3%				正職員人件費	千円	6,593	7,395	1.06		
						人工数	人	0.90	1.00					
						支出コスト	千円	決) 82,940	決見) 86,249					
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否					
	事業の分類						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
	①	学校給食管理業務 (経常的事務事業)	周南市が行う事務事業	学校給食センター施設を管理し、円滑な給食業務の推進を図る。	学校給食センター施設の機能を維持し、安心安全な給食を安定的に提供する。	○保守点検、廃棄物処理等の委託 ○施設及び厨房機器の管轄 ○衛生機器関係機器の維持管理等	0.7	0.91	26,988	否	可			
	■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 ■ コスト □ その他						細事業評価							
	光熱水費が上昇している。						B	改善案	光熱水費の実態把握に努め、学校給食センター施設を適正かつ効率的に維持管理する。					
②	学校給食運営業務 (経常的事務事業)	周南市が行う事務事業	学校給食センターの円滑な運営に関する諸事務、調理・配送・洗浄業務等を行う	○安心安全な学校給食実施のため、衛生管理を徹底して給食業務を行う	○労務・衛生管理、検便検査等 ○調理、配送、洗浄・・・委託 ○アレルギー食関係事務	0.3		51,866	可	可				
■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 ■ コスト □ その他						細事業評価								
衛生管理を徹底し、学校給食業務を行う必要がある。						B	改善案	学校給食衛生管理基準を遵守し、コストも見直ししながら学校給食業務を円滑に行う。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
	③					開催回数 2回 100%	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題					改善案							
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題					改善案							

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	学校給食衛生管理基準に適合した施設である。創意と工夫を加え、豊かで魅力ある学校給食の実現を目指していく。	前年度までの指摘事項	安心・安全な学校給食の提供のため、施設設備の維持管理と衛生管理の徹底とともに、効率的な運営に努められたい。	指摘事項に対する改善状況	光熱水費の上昇が影響しているが、その他経費を見直し、学校給食維持のため、施設の維持管理と効率的な運営を行う。
	細事業の課題・問題点	衛生管理を徹底して施設の管理運営をし、安心・安全に学校給食を提供していくことが必要である。		事業全体の課題・問題点		学校給食衛生管理基準を遵守し、コストも見直しながら適正に施設の管理運営を行う。

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	学校給食衛生管理基準を遵守しながら、円滑な学校給食業務を実施している。アレルギー対応食についても順調に対応できている。	改善案	厨房機器等については、そろそろメンテナンスが必要なものが出てきている。より長期にわたって継続使用できるように、適切なタイミングで対応していく。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 安心・安全な学校給食の提供のため、施設設備の維持管理と衛生管理の徹底とともに、効率的な運営に努められたい。また、異物混入が発生しないよう、常時、従業員の危機管理意識を高め、発生時は迅速で的確に対応すること。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施体系コード	100101
分野	1教育・子育て
基本施策	1教育の充実
推進施策	(1)学校教育の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
安心・安全な学校給食の提供のため、施設設備、厨房機器等の点検・保守を徹底するとともに、衛生管理の徹底を図る。また、異物混入が発生しないよう、常時、従業員の危機管理意識を高め、発生時は迅速で的確に対応するよう継続して啓発に努める。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部学校給食課	評価者 (課長)	坪金 裕子	評価責任者 (部長)	松村 悟
事務事業コード	072034	事務事業名	学校給食材料費(住吉)	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 1 充実した教育環境で学べる	実施計画	×
	基本施策	I 12 教育環境の整備・充実	基本方向	子供たちが、安心・安全に学び、「生きる力」を育むことができるよう教育環境等の整備・充実に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2) 学校給食の充実			【 実施なし 】	%
	推進施策の展開	①生産者の顔が見える安心・安全な食材を使用し、地域の特性を生かした学校給食に取り組みます。 ②学校給食を生きた教材として活用し、学校における食育の一層の推進を図ります。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 小中学校の児童・生徒・教職員	意図(どういう状態にしたい): 安心・安全で良質な食材を大量かつ安定的に調達するとともに、地産地消の推進に努めていく。また、地元産の食材を使用した郷土料理を献立に取り入れるなど、給食を生きた教材として活用し食育に繋げていく。	事業の内容(手段)	住吉学校給食センターにおいて安心安全で品質の良い給食食材を安定的かつ適正な価格で調達する。	【 幼児教育や義務教育 】 51.10%	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績		①食材購入費 104,620千円				事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
事業目標	目標名	地産地消実施率(重量ベース)	計算式	県内産青果取扱量/青果取扱総量(11品目)	単位		%	直接事業費	千円	95,106	110,717	104,532	104,566	101,588
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度		28年度	(予算額) うち一財	千円	185	161	159	159	159
	目標値	25.0	28.0	28.0	30.0		30.0	直接事業費	千円	90,761	104,620		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	実績値	28.2	27.9	28.0			(決算額) うち一財	千円	241	159		児童・生徒数の減		
	達成度(%)	112.8%	99.6%	100.0%			正職員人件費	千円	879	887				
							人工数	人	0.12	0.12	0.12			
						支出コスト	千円	決) 91,640	決見) 105,507					
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	事業の分類						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
	①	学校給食材料調達 (経常的事務事業)	周南市が行う事務事業	安心・安全でおいしい学校給食の提供	良質で適正な価格の食材の調達を行うほか、食育や地産地消の推進を図る。	地産地消率を概ね達成した。	0.12		104,620	否	否			
	細事業の課題	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 青果価格協議等を定期的実施し、市場の動向を踏まえながら食材調達を継続していくことが必要。また、地産地消の推進を図ることが必要。					B	改善案	地産地消の推進、及び良品質の食材を確保していく。青果については、学校給食納入組合やJAと連携を図っていく。					
②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③					開催回数 2回 100%	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
		細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価				
	④											
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価					
							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	安心・安全な食材を大量かつ安定的に仕入れなければならない。また、地産地消への取り組みから、地元産の食材を積極的に使用することが求められている。	前年度までの指摘事項	改定後の給食費に見合う魅力ある給食となるよう、良質で安価な食材の確保と地産地消率の向上に努められたい。	指摘事項に対する改善状況	県の県産食材利用拡大事業に基づき県産食材100%利用献立を年3回実施。毎月2回の学校給食納入組合との協議により可能な限り市内産、県内産青果を使用。
	細事業の課題・問題点	地元産の青果は値段が高くなる傾向があり、食材費を圧迫する要因となる。青果価格協議等を定期的実施し、市場の動向を踏まえながら食材調達を継続し、地産地消の推進を図ることが必要である。	事業全体の課題・問題点	青果については、学校給食納入組合やJAと連携を図りながら、安心・安全な食材の確保と県内農業振興のために、主要青果11品目の県内野菜の使用率(重量ベース)を、今年度は30%を目標として取り組んでいく。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	安心・安全で良質な食材調達は最優先するとともに、地産地消を積極的に進めていく。平成26年度は、地産地消実施率の目標を達成することができた。	改善案	野菜類については、どうしても天候などに左右される。県内産の納品ルートの確保に努めるとともに、少し形が悪いものや小ぶりなものでも、できるだけ使用していきよう努力していく。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 給食を通して児童生徒が健康の保持増進と豊かな学校生活が送れるようバランスの良いおいしい献立作りにより一層努めること。また、地産地消や伝統的な行事食など給食を生きた教材として楽しく食文化を理解するよう工夫すること。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	100101
分野	1教育・子育て
基本施策	1教育の充実
推進施策	(1)学校教育の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
学校給食納入組合やJAと連携をとり、安全で良質な食材の確保と地産地消の向上に努める。また、伝統的な行事食や旬の食材を取り入れた献立を工夫するなど、学校給食を生きた教材として楽しく食文化を理解できるよう努める。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部学校給食課	評価者 (課長)	坪金 裕子	評価責任者 (部長)	松村 悟
事務事業コード	072035	事務事業名	学校給食管理運営事業費(徳山西)	事業の分類	(経常的事務事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 1 充実した教育環境で学べる	実施計画	×
	基本施策	I 12 教育環境の整備・充実	基本方向	子供たちが、安心・安全に学び、「生きる力」を育むことができるよう教育環境等の整備・充実に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2) 学校給食の充実			【 実施なし 】	%
	推進施策の展開	①生産者の顔が見える安心・安全な食材を使用し、地域の特性を生かした学校給食に取り組みます。 ②学校給食を生きた教材として活用し、学校における食育の一層の推進を図ります。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 小中学校の児童・生徒・教職員	意図(どういう状態にしたい): 施設・設備の適切な維持管理と衛生管理の徹底に努め、小中学校の児童・生徒に安心・安全でおいしい給食を提供する。 (年間提供食数:329,883食)	事業の内容(手段)	学校給食センターの管理運営 施設の維持管理 調理・配送・洗浄	【 幼児教育や義務教育 】 51.10%	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	①給食実施日数(年間) 199日 ②給食提供食数(年間) 332,272食								直接事業費	千円	40,369	42,217	48,272	46,024
事業目標	目標名	給食調理実施率(年間)	計算式	給食調理数/給食調理予定数	単位	%	事業費	(予算額) うち一財	千円	40,369	42,127	48,182	45,934	45,902
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	41,044	42,257		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	334,000.0	334,000.0	329,883.0	321,024.0	317,406.0		(決算額) うち一財	千円	40,948	42,175		施設維持修繕工事費の減	
	実績値	333,166.0	331,187.0	332,272.0				正職員人件費	千円	79,843	81,345			
	達成度(%)	99.8%	99.2%	100.7%				人工数	人	10.90	11.00	10.96		
								支出コスト	千円	決) 120,887	決見) 123,602			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 学校給食管理業務 (経常的事務事業)		周南市が行う事務事業	学校給食センター施設を管理し、円滑な給食業務の推進を図る。	学校給食センター施設の機能を維持し、安心安全な給食を安定的に提供する。	○保守点検、廃棄物処理等の委託 ○施設及び厨房機器の管轄 ○衛生機器関係機器の維持管理等	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	否	可	
	■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 ■ コスト □ その他		細事業評価											
	細事業の課題		○燃料費が高騰、光熱水費が上昇している。 ○築30年以上経過で施設等が老朽化し修繕料が増加している。 ○ウェット方式		B	改善案	光熱水費の現状把握に努め、学校給食センター施設を適正に維持管理する。							
	② 学校給食運営業務 (経常的事務事業)		周南市が行う事務事業	学校給食センターの円滑な運営に関する諸事務、調理・配送・洗浄業務等を行う	○安心安全な学校給食実施のため、衛生管理を徹底して給食業務を行う	○労務・衛生管理、検便検査等 ○調理、配送、洗浄・・・直営	10.2	18.94	16,832	可	可			
細事業の課題		■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 ■ コスト □ その他		細事業評価										
○衛生管理を徹底し、学校給食業務を行う必要がある。 ○調理・配送・洗浄業務を直営で実施している。		B		改善案	学校給食衛生管理基準を遵守し、コストも見直しながら学校給食業務を円滑に行う。									

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
							正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③						開催回数 2回 100%					
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
							改善案					
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	創意と工夫に加え、豊かで魅力のある学校給食の実現を目指していく。なお、現在の施設については老朽化が進んでおり、早急に整備する必要がある。	前年度までの指摘事項	老朽化施設ではあるが、新学校給食センターの建設までは施設の維持管理に努め、学校給食センターの機能を維持されたい。また、施設設備の更新にあたっては、必要最小限にとどめるよう留意されたい。	指摘事項に対する改善状況	燃料費の高騰、光熱水費の上昇、施設の老朽化が影響しているが、その他経費を見直し、学校給食維持のため、施設の維持管理と効率的な運営を行う。
	細事業の課題・問題点	衛生管理を徹底して施設の管理運営をし、安心・安全に学校給食を提供していくことが必要である。		事業全体の課題・問題点		新しいセンターの建設に着手するまでは、現状の施設機能を維持するとともに、効率的な運営に努めていく。

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	築30年を経過しており、施設・設備とも多くの修繕が発生している。また、ウェット方式での調理作業のため、より一層の衛生管理の徹底が必要である。	改善案	学校給食衛生管理基準に適合した施設に整備することが求められている。西部地区学校給食センターの整備計画を検討していく中で、方針を決定していく。整備するまでは、現状の施設の維持管理に努めていく。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 老朽化施設ではあるが、新学校給食センターの建設までは施設の維持管理に努め、学校給食センターの機能を維持されたい。また、施設設備の更新にあたっては、必要最小限にとどめるよう留意されたい。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	100101
分野	1教育・子育て
基本施策	1教育の充実
推進施策	(1)学校教育の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
安心・安全な学校給食の提供のため、施設設備、厨房機器等の点検・保守を徹底するとともに、衛生管理の徹底を図る。また、施設設備の更新は、施設施設維持のため必要最小限の補修に努める。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部学校給食課	評価者 (課長)	坪金 裕子	評価責任者 (部長)	松村 悟
事務事業コード	072038	事務事業名	学校給食材料費(徳山西)	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 1 充実した教育環境で学べる	実施計画	×
	基本施策	I 12 教育環境の整備・充実	基本方向	子供たちが、安心・安全に学び、「生きる力」を育むことができるよう教育環境等の整備・充実に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2) 学校給食の充実			【 実施なし 】	%
	推進施策の展開	①生産者の顔が見える安心・安全な食材を使用し、地域の特性を生かした学校給食に取り組みます。 ②学校給食を生きた教材として活用し、学校における食育の一層の推進を図ります。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 小中学校の児童・生徒・教職員	意図(どういう状態にしたい): 安心・安全で良質な食材を大量かつ安定的に調達するとともに、地産地消の推進に努めていく。また、地元産の食材を使用した郷土料理を献立に取り入れるなど、給食を生きた教材として活用し食育に繋げていく。	事業の内容(手段)	徳山西学校給食センターにおいて安心安全で品質の良い給食食材を安定的かつ適正な価格で調達	【 幼児教育や義務教育 】 51.10%	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績		①食材購入費 91,835千円				事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)			
【26年度】							直接事業費	千円	76,652	86,922	84,620	83,614	84,488			
							(予算額) うち一財	千円	185	161	159	159	159			
							直接事業費	千円	82,217	91,835		対27年度増減理由	対28年度増減理由			
事業目標	目標名	地産地消実施率(重量ベース)	計算式	県内産青果取扱量/青果取扱総量(11品目)	単位	%	(決算額) うち一財	千円	1,376	159		児童・生徒数の減				
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	正職員人件費	千円	879	887						
	目標値	25.0	28.0	28.0	30.0	30.0	人工数	人	0.12	0.12	0.12					
	実績値	27.6	27.9	31.4			支出コスト	千円	決) 83,096	決見) 92,722						
	達成度(%)	110.4%	99.6%	112.1%												
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象		事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
	事業の分類										正職員		臨時等		直接事業費	
	①	学校給食材料調達 (経常的事務事業)	周南市が行う事務事業		安心・安全でおいしい学校給食の提供		良質で適正な価格の食材の調達を行うほか、食育や地産地消の推進を図る。		県内産の青果取扱量を増加		0.12		91,835		否 否	
	細事業の課題		■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 ■ コスト □ その他								B		改善案		地産地消の推進、及び良品質の食材を確保していく。青果については、学校給食納入組合やJAと連携を図っていく。	
	②															
細事業の課題		□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他										改善案				

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③					開催回数 2回 100%	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
		細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価				
	④											
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価					
							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	安心・安全な食材を大量かつ安定的に仕入れなければならない。また、地産地消への取り組みから、地元産の食材を積極的に使用することが求められている。	前年度までの指摘事項	改定後の給食費に見合う魅力ある給食となるよう、良質で安価な食材の確保と地産地消率の向上に努められたい。	指摘事項に対する改善状況	県の県産食材利用拡大事業に基づき県産食材100%利用献立を年3回実施。毎月2回の学校給食納入組合との協議により可能な限り市内産、県内産青果を使用。
	細事業の課題・問題点	地元産の青果は値段が高くなる傾向があり、食材費を圧迫する要因となる。青果価格協議等を定期的実施し、市場の動向を踏まえながら食材調達を継続し、地産地消の推進を図ることが必要である。	事業全体の課題・問題点	青果については、学校給食納入組合やJAと連携を図りながら、安心・安全な食材の確保と県内農業振興のために、主要青果11品目の県内野菜の使用率(重量ベース)を、今年度は30%を目標として取り組んでいく。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	安心・安全で良質な食材調達は最優先するとともに、地産地消を積極的に進めていく。平成26年度は、地産地消実施率の目標を達成することができた。	改善案	野菜類については、どうしても天候などに左右される。県内産の納品ルートの確保に努めるとともに、少し形が悪いものや小ぶりなものでも、できるだけ使用していきよう努力していく。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 給食を通して児童生徒が健康の保持増進と豊かな学校生活が送れるようバランスの良いおいしい献立作りにより一層努めること。また、地産地消や伝統的な行事食など給食を生きた教材として楽しく食文化を理解するよう工夫すること。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	100101
分野	1教育・子育て
基本施策	1教育の充実
推進施策	(1)学校教育の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
学校給食納入組合やJAと連携をとり、安全で良質な食材の確保と地産地消の向上に努める。また、伝統的な行事食や旬の食材を取り入れた献立を工夫するなど、学校給食を生きた教材として楽しく食文化を理解できるよう努める。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部学校給食課	評価者 (課長)	坪金 裕子	評価責任者 (部長)	松村 悟
事務事業コード	072039	事務事業名	学校給食管理運営事業費(高尾)	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 1 充実した教育環境で学べる	実施計画	×
	基本施策	I 12 教育環境の整備・充実	基本方向	子供たちが、安心・安全に学び、「生きる力」を育むことができるよう教育環境等の整備・充実に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2) 学校給食の充実			【 実施なし 】	%
	推進施策の展開	①生産者の顔が見える安心・安全な食材を使用し、地域の特性を生かした学校給食に取り組みます。 ②学校給食を生きた教材として活用し、学校における食育の一層の推進を図ります。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 小中学校の児童・生徒・教職員	意図(どういう状態にしたい): 施設・設備の適切な維持管理と衛生管理の徹底に努め、小中学校の児童・生徒に安心・安全でおいしい給食を提供する。 (年間提供食数:311,049食)	事業の内容(手段)	学校給食センターの管理運営 施設の維持管理 調理・配送・洗浄	【 幼児教育や義務教育 】 51.10%	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	①給食実施日数(年間) 199日 ②給食提供食数(年間) 304,712食								直接事業費	千円	69,782	71,163	75,000	74,604
事業目標	目標名	給食調理実施率(年間)	計算式	給食調理数/給食調理予定数	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	69,782	71,107	74,944	74,548	74,548
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	69,474	71,358		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	326,000.0	330,000.0	311,049.0	297,072.0	281,340.0	(決算額)	うち一財	千円	69,419	71,298			
	実績値	322,499.0	313,766.0	304,712.0			正職員人件費	千円	6,593	12,572				
	達成度(%)	98.9%	95.1%	98.0%			人工数	人	0.90	1.70	1.00			
							支出コスト	千円	決) 76,067	決見) 83,930				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	学校給食管理業務 (経常的事務事業)	周南市が行う事務事業	学校給食センター施設を管理し、円滑な給食業務の推進を図る。	学校給食センター施設の機能を維持し、安心安全な給食を安定的に提供する。	○保守点検、廃棄物処理等の委託 ○施設及び厨房機器の管轄 ○衛生機器関係機器の維持管理等	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
	■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 ■ コスト □ その他						細事業評価							
	光熱水費が上昇している。						B	改善案	光熱水費の現状把握に努め、学校給食センター施設を適正に維持管理する。					
②	学校給食運営業務 (経常的事務事業)	周南市が行う事務事業	学校給食センターの円滑な運営に関する諸事務、調理・配送・洗浄業務等を行う	○安心安全な学校給食実施のため、衛生管理を徹底して給食業務を行う	○労務・衛生管理、検便検査等 ○調理、配送、洗浄・・・委託 ○アレルギー食関係事務	1		46,339	可	可				
■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 ■ コスト □ その他						細事業評価								
衛生管理を徹底し、学校給食業務を行う必要がある。						B	改善案	学校給食衛生管理基準を遵守し、コストも見直ししながら学校給食業務を円滑に行う。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
							正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③						開催回数 2回 100%						
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
							改善案						
④													
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	学校給食衛生管理基準に適合した施設である。創意と工夫を加え、豊かで魅力ある学校給食の実現を目指していく。	前年度までの指摘事項	安心・安全な学校給食の提供のため、施設設備の維持管理と衛生管理の徹底とともに、効率的な運営に努められたい。	指摘事項に対する改善状況	光熱水費の上昇が影響しているが、その他経費を見直し、学校給食維持のため、施設の維持管理と効率的な運営を行う。他センターに比べると残渣率は高いが、おかげで残渣率を対前年度で0.82%改善した。
	細事業の課題・問題点	衛生管理を徹底して施設の管理運営をし、安心・安全に学校給食を提供していくことが必要である。	事業全体の課題・問題点	学校給食衛生管理基準を遵守し、コストも見直しながら適正に施設の管理運営を行う。		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	給食の食べ残し(残菜率)は、対前年度より改善したものの、まだ他センターと比較して高い。さらなる削減に取り組んでいく必要がある。	改善案	栄養士による献立の工夫や、学校給食時間における巡回訪問及び食育授業を充実していくとともに、学校側の協力も重要である。学校に対し、食べ残し削減のための取り組み実施について協力を依頼していく。
----	---	--	------	---	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	安心・安全な学校給食の提供のため、施設設備の維持管理と衛生管理の徹底とともに、効率的な運営に努められたい。また、異物混入が発生しないよう、常時、従業員の危機管理意識を高め、発生時は迅速で的確に対応すること。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100101
分野	1教育・子育て
基本施策	1教育の充実
推進施策	(1)学校教育の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

安心・安全な学校給食の提供のため、施設設備、厨房機器等の点検・保守を徹底するとともに、衛生管理の徹底を図る。また、異物混入が発生しないよう、常時、従業員の危機管理意識を高め、発生時は迅速で的確に対応するよう継続して啓発に努める。
--

備考

--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部学校給食課	評価者 (課長)	坪金 裕子	評価責任者 (部長)	松村 悟
事務事業コード	072044	事務事業名	学校給食管理運営事業費(新南陽)	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 1 充実した教育環境で学べる	実施計画	×
	基本施策	I 12 教育環境の整備・充実	基本方向	子供たちが、安心・安全に学び、「生きる力」を育むことができるよう教育環境等の整備・充実に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2) 学校給食の充実			【 実施なし 】	%
	推進施策の展開	①生産者の顔が見える安心・安全な食材を使用し、地域の特性を生かした学校給食に取り組みます。 ②学校給食を生きた教材として活用し、学校における食育の一層の充実を図ります。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 小中学校の児童・生徒・教職員	意図(どういう状態にしたい): 施設・設備の適切な維持管理と衛生管理の徹底に努め、小中学校の児童・生徒に安心・安全でおいしい給食を提供する。 (年間提供食数:467,637食)	事業の内容(手段)	学校給食センターの管理運営 施設の維持管理 調理・配送・洗浄	【 幼児教育や義務教育 】 51.10%	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】	①給食実施日数(年間)		②給食提供食数(年間)		項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)		
		199日	508,431食											
事業目標	目標名	給食調理実施率(年間)	計算式	給食調理数/給食調理予定数	単位	%	事業費	直接事業費	千円	76,227	81,802	78,787	91,336	90,549
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(予算額) うち一財	千円	76,227	81,699	78,684	90,128	90,448
	目標値	553,200.0	553,200.0	467,637.0	490,995.0	479,376.0		直接事業費	千円	77,359	86,224		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	実績値	534,242.0	525,271.0	508,431.0				(決算額) うち一財	千円	77,246	86,136		老朽化による修繕料の増	残渣処分回収経費の増
	達成度(%)	96.6%	95.0%	108.7%				正職員人件費	千円	6,593	7,395	0.96		
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
	事業の分類		周南市が行う事務事業	学校給食センター施設を管理し、円滑な給食業務の推進を図る。	学校給食センター施設の機能を維持し、安心安全な給食を安定的に提供する。	○保守点検、廃棄物処理等の委託 ○施設及び厨房機器の管轄 ○衛生機器関係機器の維持管理等		正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
	①	学校給食管理業務 (経常的事務事業)				0.7	0.81	32,964	否	可				
	細事業の課題		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ○燃料費が高騰、光熱水費が上昇している。 ○築30年以上経過で施設等が老朽化し修繕料が増加している。 ○ウェット方式		B	改善案	光熱水費の現状把握に努め、学校給食センター施設を適正に維持管理する。							
	②	学校給食運営業務 (経常的事務事業)	周南市が行う事務事業	学校給食センターの円滑な運営に関する諸事務、調理・配送・洗浄業務等を行う	○安心安全な学校給食実施のため、衛生管理を徹底して給食業務を行う	○労務・衛生管理、検便検査等 ○調理、配送、洗浄・・・委託		0.3	2.01	53,250	可	可		
細事業の課題		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 衛生管理を徹底し、学校給食業務を行う必要がある。		B	改善案	学校給食衛生管理基準を遵守し、コストも見直ししながら学校給食業務を円滑に行う。								

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
								開催回数 2回 100%					
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題							改善案					
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	創意と工夫を加え、豊かで魅力のある学校給食の実現を目指していく。なお、現在の施設については老朽化が進んでおり、早急に整備する必要がある。	前年度までの指摘事項	老朽化施設ではあるが、新学校給食センターの建設までは施設の維持管理に努め、学校給食センターの機能を維持されたい。また、施設設備の更新にあたっては、必要最小限にとどめるよう留意されたい。	指摘事項に対する改善状況	燃料費の高騰、光熱水費の上昇、施設の老朽化が影響しているが、その他経費を見直し、学校給食維持のため、施設の維持管理と効率的な運営を行う。
	細事業の課題・問題点	衛生管理を徹底して施設の管理運営をし、安心・安全に学校給食を提供していくことが必要である。	事業全体の課題・問題点	新しいセンターの建設に移働するまでは、現状の施設機能を維持するとともに、効率的な運営に努めていく。		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	築30年を経過しており、施設・設備とも多くの修繕が発生している。また、ウェット方式での調理作業のため、より一層の衛生管理の徹底が必要である。	改善案	学校給食衛生管理基準に適合した施設に整備することが求められている。西部地区学校給食センターの整備計画を検討していく中で、方針を決定していく。整備するまでは、現状の施設の維持管理に努めていく。
----	---	--	------	--	-----	---

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	老朽化施設ではあるが、新学校給食センターの建設までは施設の維持管理に努め、学校給食センターの機能を維持されたい。また、施設設備の更新にあたっては、必要最小限にとどめるよう留意されたい。
----	---	--

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100101
分野	1教育・子育て
基本施策	1教育の充実
推進施策	(1)学校教育の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
安心・安全な学校給食の提供のため、施設設備、厨房機器等の点検・保守を徹底するとともに、衛生管理の徹底を図る。また、施設設備の更新は、施設維持のため必要最小限の補修に努める。	

備考

備考	
----	--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部学校給食課	評価者 (課長)	坪金 裕子	評価責任者 (部長)	松村 悟
事務事業コード	72047	事務事業名	学校給食材料費(新南陽)	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 1 充実した教育環境で学べる	実施計画	×
	基本施策	I 12 教育環境の整備・充実	基本方向	子供たちが、安心・安全に学び、「生きる力」を育むことができるよう教育環境等の整備・充実に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2) 学校給食の充実			【 実施なし 】	%
	推進施策の展開	①生産者の顔が見える安心・安全な食材を使用し、地域の特性を生かした学校給食に取り組みます。 ②学校給食を生きた教材として活用し、学校における食育の一層の充実を図ります。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 小中学校の児童・生徒・教職員	意図(どういう状態にしたい): 安心・安全で良質な食材を大量かつ安定的に調達するとともに、地産地消の推進に努めていく。また、地元産の食材を使用した郷土料理を献立に取り入れるなど、給食を生きた教材として活用し食育に繋げていく。	事業の内容(手段)	新南陽学校給食センターにおいて安心安全で品質の良い給食食材を安定的かつ適正な価格で調達	【 幼児教育や義務教育 】 51.10%	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績		①食材購入費 141,355千円				事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
【26年度】								直接事業費	千円	127,661	135,408	129,838	126,710
							(予算額) うち一財	千円	334	282	278	278	278
事業目標	目標名	地産地消実施率(重量ベース)	計算式	県内産青果取扱量/青果取扱総量(11品目)	単位	%	直接事業費	千円	126,206	141,355		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額) うち一財	千円	665	279		児童・生徒数の減	児童・生徒数の減
	目標値	25.0	28.0	28.0	30.0	30.0	正職員人件費	千円	879	887			
	実績値	29.0	25.8	24.7			人工数	人	0.12	0.12	0.12		
	達成度(%)	116.0%	92.1%	88.2%			支出コスト	千円	決) 127,085	決見) 142,242			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	①		学校給食材料調達 (経常的事務事業)	周南市が行う事務事業	安心・安全でおいしい学校給食の提供	良質で適正な価格の食材の調達を行うほか、食育や地産地消の推進を図る。	青果価格の上昇等から県内産の青果取扱量が減少した。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	
							0.12		141,355	否	否		
	細事業の課題		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 青果価格協議等を定期的実施し、市場の動向を踏まえながら食材調達を継続していくことが必要。また、地産地消の推進を図ることが必要。				B	改善案	地産地消の推進、及び良品質の食材を確保していく。青果については、学校給食納入組合やJAと連携を図っていく。				
②													
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案	細事業評価					

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
								開催回数 2回 100%				
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価						
							改善案					
	④											
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価						
							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	安心・安全な食材を大量かつ安定的に仕入れなければならない。また、地産地消への取り組みから、地元産の食材を積極的に使用することが求められている。	前年度までの指摘事項	改定後の給食費に見合う魅力ある給食となるよう、良質で安価な食材の確保と地産地消率の向上に努められたい。	指摘事項に対する改善状況	県の県産食材利用拡大事業に基づき県産食材100%利用献立を年3回実施。毎月2回の学校給食納入組合との協議により可能な限り市内産、県内産青果を使用。
	細事業の課題・問題点	地元産の青果は値段が高くなる傾向があり、食材費を圧迫する要因となる。青果価格協議等を定期的実施し、市場の動向を踏まえながら食材調達を継続し、地産地消の推進を図ることが必要である。	事業全体の課題・問題点	青果については、学校給食納入組合やJAと連携を図りながら、安心・安全な食材の確保と県内農業振興のために、主要青果11品目の県内野菜の使用率(重量ベース)を、今年度は30%を目標として取り組んでいく。		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	安心・安全で良質な食材調達は最優先するとともに、地産地消を積極的に進めていく。平成26年度は、地産地消実施率の目標を達成することができなかった。	改善案	野菜類については、どうしても天候などに左右される。県内産の納品ルートの確保に努めるとともに、少し形が悪いものや小ぶりなものでも、できるだけ使用していきよう努力していく。
----	---	--	------	--	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	給食を通して児童生徒が健康の保持増進と豊かな学校生活が送れるようバランスの良いおいしい献立作りにより一層努めること。また、地産地消や伝統的な行事食など給食を生きた教材として楽しく食文化を理解するよう工夫すること。
----	---	--

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100101
分野	1教育・子育て
基本施策	1教育の充実
推進施策	(1)学校教育の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

学校給食納入組合やJAと連携をとり、安全で良質な食材の確保と地産地消の向上に努める。また、伝統的な行事食や旬の食材を取り入れた献立を工夫するなど、学校給食を生きた教材として楽しく食文化を理解できるよう努める。
--

備考

--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部学校給食課	評価者 (課長)	坪金 裕子	評価責任者 (部長)	松村 悟
事務事業コード	072050	事務事業名	学校給食管理運営事業費(旧熊毛)	事業の分類	(経常的事務事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 1 充実した教育環境で学べる	実施計画	×
	基本施策	I 12 教育環境の整備・充実	基本方向	子供たちが、安心・安全に学び、「生きる力」を育むことができるよう教育環境等の整備・充実に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2) 学校給食の充実			【 実施なし 】	%
	推進施策の展開	①生産者の顔が見える安心・安全な食材を使用し、地域の特性を生かした学校給食に取り組みます。 ②学校給食を生きた教材として活用し、学校における食育の一層の充実を図ります。			25年度市民評価の満足度	
					【 幼児教育や義務教育 】	51.10%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 小中学校の児童・生徒・教職員	意図(どういう状態にしたい): 活用できるものは他センター等へ配布するなど、有効的に処分する。	事業の内容 (手段)	旧熊毛学校給食センターの残務整理		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	平成26年4月1日～新センターで稼働						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	直接事業費	千円	22,996	1,436										
	(予算額)	うち一財	千円	22,996	1,386									
事業目標	目標名	給食調理実施率(年間)	計算式	給食調理数/給食調理予定数	単位	%	事業費	直接事業費	千円	22,258	612	対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(決算額)	うち一財	千円	22,164	612	旧センターの廃止	
	目標値	273,000.0	272,000.0	-	-	-			正職員人件費	千円	50,543	2,736		
	実績値	266,151.0	261,786.0	-					人工数	人	6.90	0.37		
	達成度(%)	97.5%	96.2%	-					支出コスト	千円	決) 72,801	決見) 3,348		
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否					
	①	学校給食管理業務 (経常的事務事業)	周南市が行う事務事業	学校給食センター施設を管理し、円滑な給食業務の推進を図る。	学校給食センター施設の機能を維持し、給食業務を行う。	○保守点検、廃棄物処理等の委託 ○施設及び厨房機器の管理 ○衛生機器関係機器の維持管理等	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.37		612	否	可			
	細事業の課題	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ○新センターの運用開始まで、施設機能を維持した。					細事業評価	D	改善案	新センターの運用開始に伴い、平成25年度末で施設閉鎖。				
②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価		改善案						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成26年4月からの新たな熊毛学校給食センターの運用開始に伴い、旧熊毛学校給食センターは閉鎖となり、本事業は廃止となった。	前年度までの指摘事項	新センターの運用開始に伴い既存の旧施設は解体するため、物品処分等を適正に実施する。	指摘事項に対する改善状況	物品処分等適正に実施した。
	細事業の課題・問題点	平成26年度より新センターでスムーズな運営が図られている。		事業全体の課題・問題点	平成26年度より新センターでスムーズな運営が図られている。	

所管課評価

評価	D	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	物品処分等は適正に実施され、平成26年3月末をもって、当該学校給食センターは閉鎖した。	改善案	
----	---	--	------	---	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	D	新センターへスムーズに移行している。
----	---	--------------------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100101
分野	1教育・子育て
基本施策	1教育の充実
推進施策	(1)学校教育の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部学校給食課	評価者 (課長)	坪金 裕子	評価責任者 (部長)	松村 悟
事務事業コード	072051	事務事業名	学校給食管理運営事業費(熊毛)	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 1 充実した教育環境で学べる	実施計画	×
	基本施策	I 12 教育環境の整備・充実	基本方向	子供たちが、安心・安全に学び、「生きる力」を育むことができるよう教育環境等の整備・充実に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2) 学校給食の充実			【 実施なし 】	%
	推進施策の展開	①生産者の顔が見える安心・安全な食材を使用し、地域の特性を生かした学校給食に取り組みます。 ②学校給食を生きた教材として活用し、学校における食育の一層の充実を図ります。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 小中学校の児童・生徒・教職員	意図(どういう状態にしたい): 施設・設備の適切な維持管理と衛生管理の徹底に努め、小中学校の児童・生徒に安心・安全でおいしい給食を提供する。 (年間提供食数:263,485食)	事業の内容(手段)	学校給食センターの管理運営 施設の維持管理 調理・配送・洗浄	【 幼児教育や義務教育 】 51.10%	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】	①給食実施日数(年間)		②給食提供食数(年間)		項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)				
		199日	259,957食	259,957食	259,957食											
事業目標	目標名	給食調理実施率(年間)	計算式	給食調理数/給食調理予定数	単位	%	事業費	直接事業費	千円	22,996	74,799	71,323	70,178	70,178		
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(予算額) うち一財	千円	22,996	74,749	71,258	70,113	70,113		
	目標値	273,000.0	272,000.0	263,485.0	248,493.0	243,507.0		直接事業費	千円	22,258	67,371					
	実績値	266,151.0	261,786.0	259,957.0				(決算額) うち一財	千円	22,164	67,256					
	達成度(%)	97.5%	96.2%	98.7%				正職員人件費	千円	50,543	7,395					
						人工数	人	6.90	1.00	0.83	維持管理経費の減					
						支出コスト	千円	決) 72,801	決見) 74,766							
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象		事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
	事業の分類										正職員		直接事業費		委託 臨時嘱託	
	①	学校給食管理業務 (経常的事務事業)	周南市が行う事務事業		学校給食センター施設を管理し、円滑な給食業務の推進を図る。		学校給食センター施設の機能を維持し、安心安全な給食を安定的に提供する。		○保守点検、廃棄物処理等の委託 ○施設及び厨房機器の管轄 ○衛生機器関係機器の維持管理等		0.7	0.91	21,311	否	可	
	細事業の課題		■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 ■ コスト □ その他		光熱水費が上昇している。		B		改善案		光熱水費の現状把握に努め、学校給食センター施設を適正に維持管理する。					
	②	学校給食運営業務 (経常的事務事業)	周南市が行う事務事業		学校給食センターの円滑な運営に関する諸事務、調理・配送・洗浄業務等を行う		○安心安全な学校給食実施のため、衛生管理を徹底して給食業務を行う		○労務・衛生管理、検便検査等 ○調理、配送、洗浄・・・委託 ○アレルギー食関係事務		0.3		46,060	可	可	
細事業の課題		■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 ■ コスト □ その他		衛生管理を徹底し、学校給食業務を行う必要がある。		B		改善案		学校給食衛生管理基準を遵守し、コストも見直ししながら学校給食業務を円滑に行う。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
								開催回数 2回 100%				
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価						
							改善案					
	④											
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価						
							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	事業全体の課題・問題点	指摘事項に対する改善状況
		学校給食衛生管理基準に適合した施設である。創意と工夫を加え、豊かで魅力ある学校給食の実現を目指していく。		
	衛生管理を徹底して施設の管理運営をし、安心・安全に学校給食を提供していくことが必要である。			学校給食衛生管理基準を遵守し、コストも見直しながら適正に施設の管理運営を行う。

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	改善案
			学校給食衛生管理基準を遵守しながら、円滑な学校給食業務を実施している。アレルギー対応食についても順調に対応できている。	栄養士による献立の工夫や、学校給食時間における巡回訪問及び食育授業を充実していくとともに、学校側の協力も重要である。学校に対し、食べ残し削減のための取り組み実施について協力を依頼していく。

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	コメント
		安心・安全な学校給食の提供のため、施設設備の維持管理と衛生管理の徹底とともに、効率的な運営に努められたい。また、異物混入が発生しないよう、常時、従業員の危機管理意識を高め、発生時は迅速で的確に対応すること。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100101
分野	1教育・子育て
基本施策	1教育の充実
推進施策	(1)学校教育の充実

【改善】 Action

改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
安心・安全な学校給食の提供のため、施設設備、厨房機器等の点検・保守を徹底するとともに、衛生管理の徹底を図る。また、異物混入が発生しないよう、常時、従業員の危機管理意識を高め、発生時は迅速で的確に対応するよう継続して啓発に努める。

備考

--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部学校給食課	評価者 (課長)	坪金 裕子	評価責任者 (部長)	松村 悟
事務事業コード	72053	事務事業名	学校給食材料費(熊毛)	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 1 充実した教育環境で学べる	実施計画	×
	基本施策	I 12 教育環境の整備・充実	基本方向	子供たちが、安心・安全に学び、「生きる力」を育むことができるよう教育環境等の整備・充実に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2) 学校給食の充実			【 実施なし 】	%
	推進施策の展開	①生産者の顔が見える安心・安全な食材を使用し、地域の特性を生かした学校給食に取り組みます。 ②学校給食を生きた教材として活用し、学校における食育の一層の充実を図ります。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 小中学校の児童・生徒・教職員	意図(どういう状態にしたい): 安心・安全で良質な食材を大量かつ安定的に調達するとともに、地産地消の推進に努めていく。また、地元産の食材を使用した郷土料理を献立に取り入れるなど、給食を生きた教材として活用し食育に繋げていく。	事業の内容(手段)	熊毛学校給食センターにおいて安心安全で品質の良い給食食材を安定的かつ適正な価格で調達	【 幼児教育や義務教育 】 51.10%	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績		①食材購入費 66,822千円				事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
事業目標	目標名	地産地消実施率(重量ベース)	計算式	県内産青果取扱量/青果取扱総量(11品目)	単位		%	直接事業費	千円	56,897	69,577	65,515	64,204	61,004
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度		28年度	(予算額) うち一財	千円	181	161	159	159	159
	目標値	25.0	28.0	28.0	30.0		30.0	直接事業費	千円	55,960	66,822		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	実績値	29.0	26.1	27.6			(決算額) うち一財	千円	1,100	159		児童・生徒数の減	児童・生徒数の減	
	達成度(%)	116.0%	93.2%	98.6%			正職員人件費	千円	806	813				
							人工数	人	0.11	0.11	0.11			
							支出コスト	千円	決) 56,766	決見) 67,635				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	事業の分類						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
	①	学校給食材料調達 (経常的事務事業)	周南市が行う事務事業	安心・安全でおいしい学校給食の提供	良質で適正な価格の食材の調達を行うほか、食育や地産地消の推進を図る。	地産地消率をほぼ達成した。	0.11		66,822	否	否			
	細事業の課題	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 青果価格協議等を定期的実施し、市場の動向を踏まえながら食材調達を継続していくことが必要。また、地産地消の推進を図ることが必要。					B	改善案	地産地消の推進、及び良品質の食材を確保していく。青果については、学校給食納入組合やJAと連携を図っていく。					
②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
							正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③						開催回数 2回 100%					
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価						
細事業の課題						改善案						
④												
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価						
細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	安心・安全な食材を大量かつ安定的に仕入れなければならない。また、地産地消への取り組みから、地元産の食材を積極的に使用することが求められている。	前年度までの指摘事項	改定後の給食費に見合う魅力ある給食となるよう、良質で安価な食材の確保と地産地消率の向上に努められたい。	指摘事項に対する改善状況	県の県産食材利用拡大事業に基づき県産食材100%利用献立を年3回実施。毎月2回の学校給食納入組合との協議により可能な限り市内産、県内産青果を使用。
	細事業の課題・問題点	地元産の青果は値段が高くなる傾向があり、食材費を圧迫する要因となる。青果価格協議等を定期的実施し、市場の動向を踏まえながら食材調達を継続し、地産地消の推進を図ることが必要である。	事業全体の課題・問題点	青果については、学校給食納入組合やJAと連携を図りながら、安心・安全な食材の確保と県内農業振興のために、主要青果11品目の県内野菜の使用率(重量ベース)を、今年度は30%を目標として取り組んでいく。		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	安心・安全で良質な食材調達は最優先するとともに、地産地消を積極的に進めていく。平成26年度においても、地産地消実施率の目標をほぼ達成することができた。	改善案	野菜類については、どうしても天候などに左右される。県内産の納品ルートの確保に努めるとともに、少し形が悪いものや小ぶりなものでも、できるだけ使用していきよう努力していく。
----	---	--	------	---	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	給食を通して児童生徒が健康の保持増進と豊かな学校生活が送れるようバランスの良いおいしい献立作りにより一層努めること。また、地産地消や伝統的な行事食など給食を生きた教材として楽しく食文化を理解するよう工夫すること。
----	---	--

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100101
分野	1教育・子育て
基本施策	1教育の充実
推進施策	(1)学校教育の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

学校給食納入組合やJAと連携をとり、安全で良質な食材の確保と地産地消の向上に努める。また、伝統的な行事食や旬の食材を取り入れた献立を工夫するなど、学校給食を生きた教材として楽しく食文化を理解できるよう努める。
--

備考

--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部学校給食課	評価者 (課長)	坪金 裕子	評価責任者 (部長)	松村 悟
事務事業コード	072056	事務事業名	学校給食管理運営事業費(鹿野)	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 1 充実した教育環境で学べる	実施計画	×
	基本施策	I 12 教育環境の整備・充実	基本方向	子供たちが、安心・安全に学び、「生きる力」を育むことができるよう教育環境等の整備・充実に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2) 学校給食の充実			【 実施なし 】	%
	推進施策の展開	①生産者の顔が見える安心・安全な食材を使用し、地域の特性を生かした学校給食に取り組みます。 ②学校給食を生きた教材として活用し、学校における食育の一層の充実を図ります。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 小中学校の児童・生徒・教職員	意図(どういう状態にしたい): 施設・設備の適切な維持管理と衛生管理の徹底に努め、小中学校の児童・生徒に安心・安全でおいしい給食を提供する。 (年間提供食数:42513食)	事業の内容(手段)	学校給食センターの管理運営 施設の維持管理 調理・配送・洗浄	【 幼児教育や義務教育 】 51.10%	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】	①給食実施日数(年間)		②給食提供食数(年間)		項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)		
		199日	41,444食	199日	41,444食									
事業目標	目標名	給食調理実施率(年間)	計算式	給食調理数/給食調理予定数	単位	%	事業費	直接事業費	千円	9,731	10,643	10,342	10,105	10,243
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(予算額) うち一財	千円	9,731	10,628	10,327	10,090	10,228
	目標値	43,000.0	43,000.0	42,513.0	38,498.0	39,789.0		直接事業費	千円	9,705	12,025		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	実績値	43,745.0	41,860.0	41,444.0				(決算額) うち一財	千円	9,694	11,950			
	達成度(%)	101.7%	97.4%	97.5%				正職員人件費	千円	16,481	17,009			
								人工数	人	2.25	2.30	2.31		
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	事業の分類						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
	①	学校給食管理業務 (経常的事務事業)	周南市が行う事務事業	学校給食センター施設を管理し、円滑な給食業務の推進を図る。	学校給食センター施設の機能を維持し、安心安全な給食を安定的に提供する。	○保守点検、廃棄物処理等の委託 ○施設及び厨房機器の管理 ○衛生機器関係機器の維持管理等	0.28	0.71	7,352	否	可			
	細事業の課題		■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 ■ コスト □ その他		細事業評価									
	○燃料費が高騰、光熱水費が上昇している。 ○施設等の修繕料が増加している。 ○ドライ方式		B		改善案	光熱水費の現状把握に努め、学校給食センター施設を適正に維持管理する。								
②	学校給食運営業務 (経常的事務事業)	周南市が行う事務事業	学校給食センターの円滑な運営に関する諸事務、調理・配送・洗浄業務等を行う	○安心安全な学校給食実施のため、衛生管理を徹底して給食業務を行う	○労務・衛生管理、検便検査等 ○調理、配送、洗浄・・・直営	2.02	3.64	4,673	可	可				
細事業の課題		■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 ■ コスト □ その他		細事業評価										
○衛生管理を徹底し、学校給食業務を行う必要がある。 ○調理・配送・洗浄業務を直営で実施している。		B		改善案	○学校給食衛生管理基準を遵守し、コストも見直ししながら学校給食業務を円滑に行う。 ○食数規模に見合う人員配置に見直し給食業務を進めていく。									

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
							正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③					開催回数 2回 100%							
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題							改善案					
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	給食開始当初の目的は達成されているが、今後も創意と工夫を加え、豊かで魅力のある学校給食の実現を目指していく。食育推進事業も継続して取り組んでいく。平成22年度に施設の改修工事を行い、ドライ運用を実施している。	前年度までの指摘事項	安心・安全な学校給食の提供のため、施設設備の維持管理と衛生管理の徹底とともに、効率的な運営に努められたい。小規模施設として、学校行事も配慮した給食提供に努められたい。	指摘事項に対する改善状況	学校給食維持のため、施設の維持管理と効率的な運営を行う。
	細事業の課題・問題点	衛生管理を徹底して施設の管理運営をし、安心・安全に学校給食を提供していくことが必要である。		事業全体の課題・問題点	直営にするか民間委託にするかは、事業の効率性や費用対効果などを総合的に検証する中で、判断していきたい。	

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	平成22年度に施設の改修工事を行い、ドライ運用で調理作業を実施している。施設規模が小さいため、民間委託してもコスト効果はほとんど見込めない。	改善案	安心安全な学校給食を提供していくため、現状で適切な施設の維持管理と効率的な運営を実施する。
----	---	--	------	--	-----	---

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	安心・安全な学校給食の提供のため、施設設備の維持管理と衛生管理の徹底とともに、効率的な運営に努められたい。小規模施設として、学校行事も配慮した給食提供に努められたい。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100101
分野	1教育・子育て
基本施策	1教育の充実
推進施策	(1)学校教育の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

安心・安全な学校給食の提供のため、施設設備、厨房機器等の点検・保守を徹底するとともに、衛生管理の徹底を図る。また、異物混入が発生しないよう、常時、従業員の危機管理意識を高め、発生時は迅速で的確に対応するよう継続して啓発に努める。

備考

備考	
----	--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部学校給食課	評価者 (課長)	坪金 裕子	評価責任者 (部長)	松村 悟
事務事業コード	72509	事務事業名	学校給食材料費(鹿野)	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 1 充実した教育環境で学べる	実施計画	×
	基本施策	I 12 教育環境の整備・充実	基本方向	子供たちが、安心・安全に学び、「生きる力」を育むことができるよう教育環境等の整備・充実に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2) 学校給食の充実			【 実施なし 】	%
	推進施策の展開	①生産者の顔が見える安心・安全な食材を使用し、地域の特性を生かした学校給食に取り組みます。 ②学校給食を生きた教材として活用し、学校における食育の一層の充実を図ります。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 小中学校の児童・生徒・教職員	意図(どういう状態にしたい): 安心・安全で良質な食材を大量かつ安定的に調達するとともに、地産地消の推進に努めていく。また、地元産の食材を使用した郷土料理を献立に取り入れるなど、給食を生きた教材として活用し食育に繋げていく。	事業の内容(手段)	鹿野学校給食センターにおいて安心安全で品質の良い給食食材を安定的かつ適正な価格で調達	【 幼児教育や義務教育 】 51.10%	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績		①食材購入費 10,850千円				事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
【26年度】								直接事業費	千円	9,802	11,163	10,148	10,537
							(予算額) うち一財	千円	181	162	159	159	159
事業目標	目標名	地産地消実施率(重量ベース)	計算式	県内産青果取扱量/青果取扱総量(11品目)	単位	%	直接事業費	千円	9,416	10,850		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額) うち一財	千円	51	152			
	目標値	25.0	28.0	28.0	30.0	30.0	正職員人件費	千円	293	296			
	実績値	34.9	35.4	30.1			人工数	人	0.04	0.04	0.04		
	達成度(%)	139.6%	126.4%	107.5%			支出コスト	千円	決) 9,709	決見) 11,146			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	①		学校給食材料調達 (経常的事務事業)	周南市が行う事務事業	安心・安全でおいしい学校給食の提供	良質で適正な価格の食材の調達を行うほか、食育や地産地消の推進を図る。	地産地消率を達成した。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	
							0.04		10,850	否	可		
	細事業の課題		■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 ■ コスト □ その他 青果価格協議等を定期的実施し、市場の動向を踏まえながら食材調達を継続していくことが必要。また、地産地消の推進を図ることが必要。				B	改善案	地産地消の推進、及び良品質の食材を確保していく。青果については、学校給食納入組合やJAと連携を図っていく。				
②													
細事業の課題		□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他					改善案	細事業評価					

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
			<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価				
						開催回数 2回 100%							
	細事業の課題							改善案					
	④												
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価					
								改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	安心・安全な食材を大量かつ安定的に仕入れなければならない。また、地産地消への取り組みから、地元産の食材を積極的に使用することが求められている。	前年度までの指摘事項	改定後の給食費に見合う魅力ある給食となるよう、良質で安価な食材の確保と地産地消率の向上に努められたい。	指摘事項に対する改善状況	県の県産食材利用拡大事業に基づき県産食材100%利用献立を年3回実施。毎月2回の学校給食納入組合との協議により可能な限り市内産、県内産青果を使用。
	細事業の課題・問題点	地元産の青果は値段が高くなる傾向があり、食材費を圧迫する要因となる。青果価格協議等を定期的実施し、市場の動向を踏まえながら食材調達を継続し、地産地消の推進を図ることが必要である。	事業全体の課題・問題点	青果については、学校給食納入組合やJAと連携を図りながら、安心・安全な食材の確保と県内農業振興のために、主要青果11品目の県内野菜の使用率(重量ベース)を、今年度は30%を目標として取り組んでいく。		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	安心・安全で良質な食材調達は最優先するとともに、地産地消を積極的に進めていく。平成26年度においても、地産地消実施率の目標を達成することができた。	改善案	野菜類については、どうしても天候などに左右される。県内産の納品ルートの確保に努めるとともに、少し形が悪いものや小ぶりなものでも、できるだけ使用していきよう努力していく。
----	---	--	------	---	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	給食を通して児童生徒が健康の保持増進と豊かな学校生活が送れるようバランスの良いおいしい献立作りにより一層努めること。また、地産地消や伝統的な行事食など給食を生きた教材として楽しく食文化を理解するよう工夫すること。
----	---	--

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100101
分野	1教育・子育て
基本施策	1教育の充実
推進施策	(1)学校教育の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

学校給食納入組合やJAと連携をとり、安全で良質な食材の確保と地産地消の向上に努める。また、伝統的な行事食や旬の食材を取り入れた献立を工夫するなど、学校給食を生きた教材として楽しく食文化を理解できるよう努める。

備考

備考
